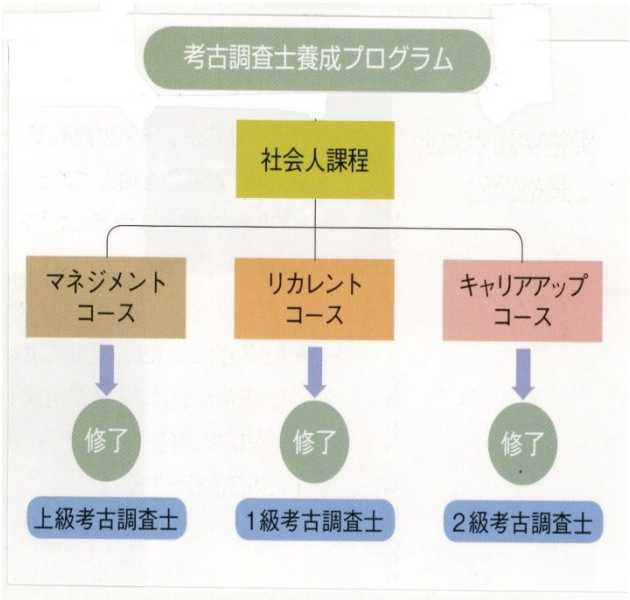
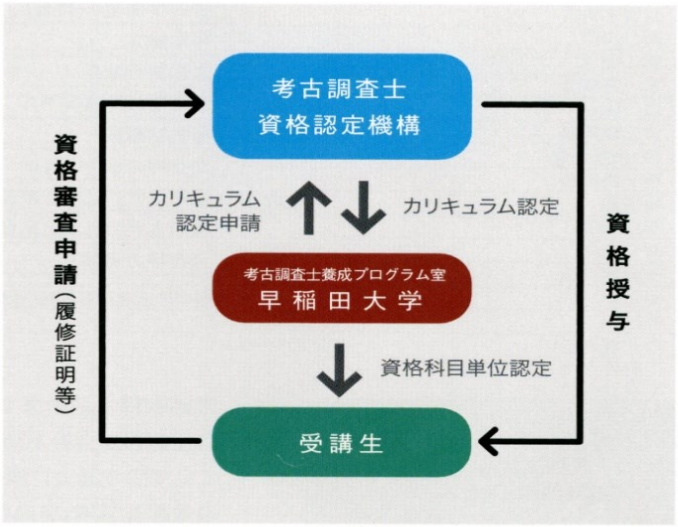
2023年度考古調査士養成プログラム
履修の手引き（社会人課程）

履修コースと受講条件（社会人課程）

考古調査士養成プログラムでは、考古調査士資格の取得を目指すコース及び科目群を設置しています。





〈資格授与のしくみ〉

社会人課程のコースと資格

社会人課程では、埋蔵文化財調査に携わる社会人を主対象として、大学の「科目等履修生制度」を利用して、半年間の専門教育を実施します。
「キャリアアップコース」「リカレントコース」「マネジメントコース」の３コースを設置しており、取得できる資格・科目内容が異なります。

早稲田大学文学学術院考古調査士養成プログラムホームページ
http://www.waseda.jp/prj-maibun/

考古調査士資格認定機構ホームページ
http://www.jabar.jp/

社会人課程の受講条件

1条 受講者は 22 歳以上（在学生除く）で、以下の条件のうち一つを満たすものとする。

1．高等学校を卒業した者、またはそれと同等以上の学力を持つと認められる者。

2．大学を卒業した者、またはそれと同等の学力を持つと認められる者。

2条 キャリアアップコースの受講者は、１条１、２項の定める条件の一つを満たしたうえ、次のいずれかの条件を必要とする。

1．埋蔵文化財調査の実務経験を有する者。

2．埋蔵文化財調査に強く関心をもつと認められる者。

3条 リカレントコースの受講者は、１条２項の定める条件を満たしたうえ、次のいずれかの条件を必要とする。

1．埋蔵文化財調査の担当経験を有する者。

2．別に定める２級考古調査士と同等の能力を有すると認められ、かつ通算４年以上の埋蔵文化財調査の実務経験を有する者。

3．２級考古調査士の資格を有する者。ただし、取得後に２年以上、２級考古調査士相当の埋蔵文化財調査の実務経験を有する者。

4条 マネジメントコースの受講者は、１条２項の定める条件を満たしたうえ、次のいずれかの条件を必要とする。

1． 別に定める１級考古調査士と同等の能力を有すると認められ、かつ通算１０年以上の埋蔵文化財調査の実務経験を有する者。

2．１級考古調査士の資格を有する者。ただし、取得後に２年以上、１級考古調査士相当の埋蔵文化財調査の実務経験を有する者。

キャリアアップコース

考古調査士の最も基礎的分野の拡充に重点をおいたコースで、２級考古調査士資格に対応します。
本コースでは下記（表１）に示した５科目（10 単位）を配置します。そのうち**「文化財行政学」「文化財の保存と活用」「考古学演習１（実習）C」を必修**とし、合計４科目（８単位）以上を修得することで資格申請ができます。

（表１）

科目名	科目群	単位数	学期	担当者
文化財行政学【必修】	第 5 群	2	春学期	御堂島　正
文化財の保存と活用【必修】	第 5 群	2	春学期	忍澤　成視
考古学概論	第 1 群	2	春学期	山﨑　世理愛
考古学と関連科学 B	第 6 群	2	春学期	佐々木　由香、樋泉　岳二 小林　謙一、早田　勉
考古学演習 1（実習）C【必修】	第 4 群	2	春学期	加藤　一郎

※表中にある第〇群の表記は、「カリキュラムと資格科目の要件」で規定した科目群の番号を示します。
※2010 年度～2022 年度に修得した上記科目を資格申請に加えることが可能です。
※担当教員は変更の可能性があります。

＜科目設置と履修に関する注意＞
キャリアアップコースに設置する資格科目群は、科目の性質や内容によって、基本的に第 1 科目群から第 7 科目群までに含まれます。これらは、いずれも考古学に重要な専門知識と技術、埋蔵文化財に関する諸知識を網羅しています。したがって、履修者は、設置された科目群の中から幅広い範囲にわたって科目を履修することが望ましく、社会人課程のキャリアアップコースでは最低 3 科目群にわたって必要な単位を修得する必要があります。また、1 科目群の中から申請できるのは、2 科目、4 単位以内とします。

リカレントコース

考古調査士として、発掘現場や整理現場を実質的かつ主体的に総括する技能を養成するコースで、１級考古調査士資格に対応します。
本コースでは下記（表２）に示した**「文化財行政学特論」「文化財の保存と活用特論」「考古学特殊研究」３科目（６単位）を配置し、すべてを必修科目とします。**

（表２）

科目名	科目群	単位数	学期	担当者
文化財行政学特論【必修】	第 5 群	2	秋学期	御堂島　正
文化財の保存と活用特論【必修】	第 5 群	2	秋学期	品川　欣也、亀田　直美、 和田　浩、中門　亮太
考古学特殊研究【必修】	第 3 群	2	秋学期	平原　信崇

※表中にある第〇群の表記は、「カリキュラムと資格科目の要件」で規定した科目群の番号を示します。
※2010 年度～2022 年度に修得した上記科目を資格申請に加えることが可能です。
※担当教員は変更の可能性があります。

マネジメントコース

高い学識と広範囲な視野から遺跡発掘調査の全体的企画策定に関わる人材を養成するコースで、上級考古調査士資格に対応します。

本コースでは下記（表３）に示した３科目（６単位）を配置します。**「文化財行政学特論」「文化財の保存と活用特論」のうちいずれかを選択必修、「考古学特殊演習」を必修科目とし、**合計２科目（４単位）を修得することで資格申請ができます。このうち、すでにリカレントコースで「文化財行政学特論」「文化財の保存と活用特論」の単位を修得した者は、再び履修する必要はありません。

（表３）

科目名	科目群	単位数	学期	担当者
文化財行政学特論【選択必修】	第 5 群	2	秋学期	御堂島　正
文化財の保存と活用特論【選択必修】	第 5 群	2	秋学期	品川　欣也、亀田　直美、和田　浩、中門　亮太
考古学特殊演習【必修】	第 3 群	2	秋学期	竹野内　恵太

※表中にある第〇群の表記は、「カリキュラムと資格科目の要件」で規定した科目群の番号を示します。

※2010 年度～2022 年度に修得した上記科目を資格申請に加えることが可能です。

※担当教員は変更の可能性があります。